



## 日本大学文理学部国文学科 日本語学基礎演習2

はじめに

各ジャンルにおける  
年代別キャライメージの比較方言イメージと  
週刊少年ジャンプにおける  
方言キャライメージの  
関係について外国人と地元の  
方言キャラクター少女漫画における  
方言による作品世界と  
方言の基本イメージの関係少年マンガにおける  
方言を利用した  
キャラの差別化

あとがき

検索

## 2.5.年代で見る恋愛漫画

(名執桃子)

恋愛漫画における大阪方言を使うキャラを対象に大阪方言のステレオタイプがキャラの性格に当てはまっているか、どのようにあらわれているかを1980年代、1990年代、2000年代と10年ごとに区切って調査した。

表8 金水敏(2002)から抽出したステレオタイプとキャラの比較

	2000年代⇒		1990年代⇒		1980年代⇒	
	小泉リサ	山口瑞穂	中津秀一	松井風香	沖田成利	片桐哲矢
冗談好き	○	○	○	○	○	◎
おしゃべり好き	◎	○	○	○	○	○
けち、守銭奴	×	×	×	×	×	×
食通、食いしん坊	×	×	×	×	×	×
派手好き	○	×	○	○	×	×
好色、下品	○	◎	○	○	×	△
ど根性	○	○	○	○	○	○
やくざ、暴力団	×	×	×	×	○	△

表9 田中ゆかり(2011)から抽出した大阪ステレオタイプとキャラの比較

	2000年代⇒		1990年代⇒		1980年代⇒	
	小泉リサ	山口瑞穂	中津秀一	松井風香	沖田成利	片桐哲矢
怖い	×	×	×	×	○	×
かわいい	×	×	×	×	×	×
かっこいい	×	○	○	○	○	×
男らしい	×	○	○	×	○	○
冷たい	×	×	×	×	×	×

上記の表を見ても分かるように恋愛漫画のキャラに表れる大阪ステレオタイプは年代ごとに差があった。その特徴をまとめる。

- ・冗談好き、おしゃべり好きなどといったプラス面は年代を問わずキャラの性格に表れている。
- ・けち、守銭奴、食通、食いしん坊などといった項目は恋愛漫画においてはこれらに関する記述が見られず、キャラの性格として表れなかった。
- ・怖い、やくざ、暴力団などといったマイナス面に関しては2000年代など近年では当てはまらないが、1980年代など時代を遡るとこのような性格がキャラに表れるようになる。
- ・年代ごとに少しずつ違いはあるが、どの年代にも大阪方言のステレオタイプを利用したギャップ効果が見られた。
- ・2000年代など近代、ステレオタイプのマイナス面にあまり当てはまらない原因としてマイナス面よりもプラス面である「冗談好き、おしゃべり好き」などのイメージが強くなっていることが原因の一つであると考えられる。

このように恋愛漫画において大阪方言ステレオタイプの使われ方(当てはまり方)には年代別に違いが見られる。これには、大阪方言に対する世間のイメージが変わって来ていることが原因の一つであると考えられる。1980年代の漫画「エリート狂想曲」の漫画内における「大阪弁はやめて!!大阪弁は嫌いなもの!!」と言う台詞にあるような大阪方言を使っているというだけで「軽蔑」されるなどといったことは現代では全く見られず、このような点からも大阪方言に対するイメージの変化があったのではないかと考えた。

[2.2.年代で見るバトル漫画の大阪弁キャライメージとステレオタイプの比較 \(梅原遥子\)](#)

[2.3.年代で見るギャグ漫画 \(高田宗典\)](#)

[2.4.スポーツ漫画における年代別のイメージの変容 \(仲宥人\)](#)